

# News

2018年5月16日

## 博報堂、お風呂のIoTロボット「fuuron」を開発

### — 最適な入浴環境をお知らせして健康管理に繋げる —

株式会社博報堂（東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂）は、ユーザーの嗜好と体調に合わせてお風呂を出る最適なタイミングをお知らせするIoTロボット「fuuron(フーロン)」を開発いたしました。



「fuuron」は湯船に浮かべて使います。搭載している温度センサーとタイマーセンサーが湯温と入浴時間を計測して、湯温が高過ぎたり低過ぎると内蔵のLEDが点灯し、お風呂を出る時間になると点滅してお知らせします。お風呂研究の第一人者である東京都市大学の早坂信哉教授の監修のもと、様々な「モード」を設定することができます。たとえば「美肌モード」を設定すると、長湯による肌からのセラミド流出などを防ぐ適切な湯温と入浴時間をお知らせします。その他「美肌モード」「花粉症モード」「ダイエットモード」など、ユーザーの嗜好と体調に合わせた「モード」があります。

また年々増加する、高齢者を中心とした入浴事故を防ぐための「見守り機能」を備えます。高齢者がロボットを長時間湯船に浮かべた状態が続くと、高齢者に何かあったと認知して、遠隔の近親者のスマートフォンに警告が送信されます。

ユーザーは、入浴した実際の温度や時間のデータをログとしてスマートフォンで管理し、毎日の健康管理に役立てることができます。

また「fuuron」によって得られた入浴のログデータは、東京都市大学、東海大学がクラウド上で収集します。博報堂は収集されたデータを両大学と協働して入浴実態の解析を行い、より良い入浴環境についての情報発信に繋がてまいります。

2018年5月26日に別府で開催される「世界温泉地サミット」で、「fuuron」を展示し実装の説明を行い、2018年度中に協業パートナーを募り、2019年度中の販売を目指します。

「fuuron」動画：<https://youtu.be/GWGszpcU6n8>

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 広報室 大久保 TEL：03-6441-6161

## <参考資料>

### 「fuuron」の実装機能

- 搭載している温度センサーとタイマーセンサーが湯温と入浴時間を計測して、湯温が高過ぎたり低過ぎると内蔵する LED が点灯し、お風呂を出る時間になると点滅してお知らせします。



- ユーザーの嗜好と体調に合わせて様々な「モード」を設定できます。  
たとえば「美肌モード」を設定すると、長湯による肌からのセラミド流出などを防ぐ最適な湯温と入浴時間をお知らせします。



<様々なモードの設定画面>

- 年々増加する、高齢者を中心とした入浴事故(年間約 19,000 人)を防ぐための「見守り機能」を備えます。  
高齢者がロボットを長時間湯船に浮かべた状態が続くと、高齢者に何かあったと認知して、遠隔の近親者のスマートフォンに警告が送信されます。
- 親と子のバスタイムでは、内蔵の LED を光らせるおもちゃとして、子どもが飽きずに入浴するプログラムを用意し、子どもの入浴の習慣化を助けます。

- 入浴したデータはスマートフォンで見ることができ、ユーザーはログを管理して毎日の健康管理に役立てることができます。



<ログ画面>

### 「Yu-naviプロジェクト」との連携

博報堂は、東京都市大学、東海大学、およびクラウドコンピューティングを扱う株式会社 APC (大分県大分市)と「Yu-navi」プロジェクトとの連携を開始しました。

「fuuron」によって得られる入浴のログデータだけでなく、入浴に関する調査や入浴時のバイタルデータの取得などにより、より良い入浴環境についての情報発信に繋げてまいります。



<Y-naviプロジェクト ロゴ>